



暗渠と飲み屋街から杉並のまちが好きになる！

3月20日、細田工務店（阿佐谷南3丁目35番21号）で、杉並の隠れたまちの魅力を探る観光まちづくりシンポジウムを開催します。区内の地下を迷宮のように広がる桃園川（暗渠）と中央線沿線に今も広がる風情ある個性的な飲み屋街をテーマに、歴史的背景から生み出される個性的な「まち」の形成について各専門家による独自の視点から解説します。

昨年の11月、杉並区内の特徴的な「マンホール蓋」、隣接区の境目でもある「境界」、鎌倉街道等の「古道」、そして桃園川に代表される杉並の「暗渠」など、マニアックな事物を研究している専門家を招き、その独特な視点を通して、杉並区の隠れた魅力を紹介する観光まちづくりシンポジウム「すぎなみ道草のススメ～下も向いて歩こう～」を開催しました。シンポジウムは、300人近く入る会場がほぼ満席になるなど、大変好評を博しました。来場者の多くの方は、従来型の名所・旧跡を中心としたまち歩きよりも、より知的好奇心をそそるマニアックで隠れた区内の魅力的なスポットを好む傾向が見て取れたため、杉並区内の更なる地域資源を発掘するべく、今回は杉並の地下を迷路のように広がる暗渠と中央線沿線に今なお残る情緒ある飲み屋街にスポットを当てた観光まちづくりシンポジウム「道草のススメ」第2弾を開催します。

杉並区には、荻窪から阿佐谷、高円寺を通り中野へと続く桃園川（暗渠）があります。その暗渠となっている通りには、JR中央線沿線には駅周辺に風情ある居酒屋が沢山あり、多くの方の憩いの場となり、まちの居場所としても機能しています。「暗渠」と「飲み屋街」の歴史的背景から生み出される、個性的かつ魅力的な杉並のまちについて、各専門家の方から、他では聞けない魅力的な情報をたっぷりお話しいたします。

すぎなみ「道草のススメ」 桃園川と飲み屋街散歩

【開催日時】3月20日（日曜）午後5時から7時（開場：午後4時30分）

【開催場所】細田工務店リボン館2階（阿佐谷南3丁目35番21号）

【定員】120名（先着順）

【出演】吉村生（暗渠研究家）、高山英男（暗渠研究家）、小川勝久（マイタウン阿佐谷協議会会長）、森口剛行（阿佐ヶ谷飲み屋さん祭り実行委員長）、松原隆一郎（杉並まちなみ愛好家・東京大学教授）

【その他】駐車場・駐輪場はありません

【報道機関 問い合わせ先】

都市整備部まちづくり推進課拠点整備係 電話 03-3312-2111

総務部広報課 電話 03-3312-2111